

# ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングで自己理解を深め 社内コミュニケーションの活性化から研究の生産性向上へ



【企業名】	株式会社ニデック
【所在地】	愛知県蒲郡市
【業種】	製造業
【事業概要】	医療機器製造
【設立】	1971年7月
【資本金】	4億6,189万円
【従業員】	1,652名 役員・顧問除く（2023年3月31日現在）

**導入目的：**  
 社内コミュニケーションの活性化で業務効率を  
 向上させる

**取り組み内容：**  
 部門のメンバーに、ジョブ・カードセミナー、  
 キャリアコンサルティングを実施

**導入成果：**  
 自分の強み・弱みを理解し、周囲とのコミュ  
 ニケーションスキルの強化に繋がりはじめた

**Q.ジョブ・カードを導入しようと思ったきっかけは  
 何ですか？**

当社は医療機器の研究開発・製造をしています。創業52年  
 を迎え、更なる組織活性化のため社員のモチベーション向  
 上やキャリア支援の取組を考える中、研究開発部門は個  
 々の研究が業務の中心となるため、社員間の関係が希薄で信  
 頼関係構築がうまくできず、指導する側と受け取る側との  
 ギャップが生じ、指導がしにくいといった声がありました。  
 人に話す機会が少なく、指導されたことを1人で抱えてし  
 まい、意思疎通がうまく取れない事でモチベーションが下  
 がり、研究の生産性も落ちるといったことも考えられまし  
 た。ジョブ・カードを活用して自己理解を深め、仕事に対  
 する思いや気持ちを相手に伝えていくことで、信頼関係を  
 築ききっかけにしたいと考え、まずは研究開発部門から導  
 入することを決めました。

**Q.ジョブ・カードをどのように活用しましたか？**

今回は研究開発部門に2回のジョブ・カードセミナーとキャ  
 リアコンサルティングを行いました。1回目は若手と管理職  
 との間に位置し、組織と現場を仲介する立場となる30代前  
 後の社員20名を対象、2回目は全年齢を対象に希望社員26  
 名に実施しました。作成したジョブ・カードを用いたディ  
 スカッション中心のセミナーで、周囲の人と交流し、互  
 いの業務や役割、価値観、個性や強みなどを理解すること  
 で、コミュニケーション力向上に繋がるきっかけづくりが  
 できました。また、自己理解を深めた上でキャリアコンサル  
 ティングに臨むことができ、今後を考える良い機会とな  
 りました。有意義な面談を行うためのツールとしても活用  
 していきたいと感じました。

**Q.導入前後を比較して、あなた自身や社員・組織  
 にどんな効果がありましたか？**

面談を受けた社員からは「言語化する事で自分の考えをま  
 とめることが出来た」など前向きな意見を多々聞くことが  
 できました。社員同士が互いの強みを認め合うことで、研  
 究テーマの探索や新規事業のアイデア出しの場でも、チ  
 ームワークがとれ、効率的に業務を進めることができ始めて  
 います。コミュニケーションスキルの強化にも繋がった事  
 から、今後、研究開発部門にとどまらず、他部門でもジョ  
 ブ・カードの活用をひろげ、モチベーションの向上や生産  
 性の向上に繋げていきたいです。